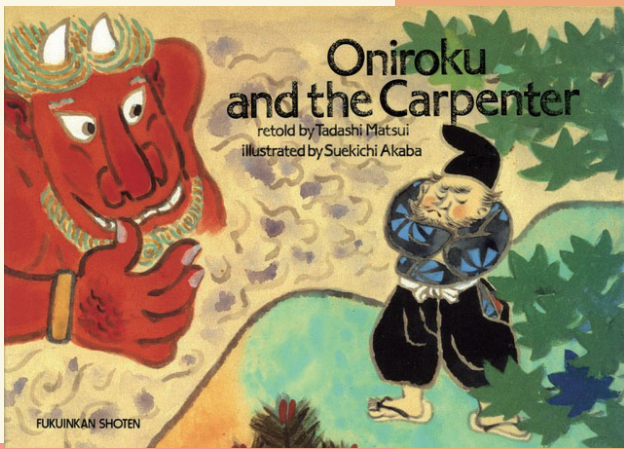


ベッティーナ・ヒューリマンの働き

日本の絵本を世界に

外国生まれの絵本はたくさん日本に紹介されていますが、その逆はどうなのか。
戦後の日本の絵本を世界で紹介するという功績を残した一人に、スイスの児童文学者
ベッティーナ・ヒューリマンがいます。
その彼女の紹介の歩みの一端を映像でたどってみます。

2022
10.29 sat 14:00 ~ 16:00
オンライン開催 (講演+質疑応答)

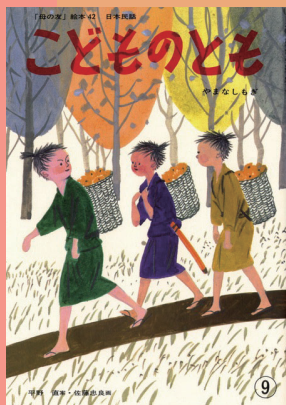


松居直 再話 赤羽末吉 画
福音館書店 [英語版] 1991 年

300 年にわたる子どもの本の歴史を『ヨーロッパの子どもの本』上・下 (ちくま学芸文庫) に著したヒューリマンは、世界の絵本の蒐集家としても知られています。国際アンデルセン賞の選考者でもあった彼女が、どういったいきさつから日本の絵本を知り、それを世界に向けて紹介するようになったのか。どのような絵本が、これは!と彼女を捉えたのか。映像を見ながらご一緒に考えてみましょう。



谷川俊太郎 詩 瀬川康男 絵
福音館書店 1973 年



平野直 案 佐藤忠良 画
福音館書店 1959 年

定員 100 名 (先着順)

参加方法 要事前申し込み・参加費無料

申し込み受付開始

絵本学会会員 9 月 1 日 (木) 9:00 から

一般参加者 9 月 15 日 (木) 9:00 から

受付締切 10 月 15 日 (土) 20:00 まで



<https://x.gd/IX1RB>

参加を希望される方は
左の QR コードより
お申し込みください。



まかべ ごろう 1936 年 生まれ

眞壁 伍郎

新潟大学名誉教授。ドイツ語の教師だったが、看護にひかれ、長年医療従事者の教育にあたる。自宅に 50 年近く子どもたちのための家庭文庫や大人の読書会を開いてきた。新潟ののちの電話元理事長。著書に『いまに生きる昔話—グリム・メルヒェンの再発見』(考古堂、絶版)『いのちに寄り添うひとへ 看護の原点にあるもの』(日本看護協会出版会)、訳書にイェルク・ツィンク『わたしはよるこんで歳をとりた』(こぐま社) などがある。

- 【お願い】
- *参加 URL は、申込者のみにお知らせします。外部に漏らすことはお控えいただき、必ずお一人ずつお申込みください。
 - *録画や録音、画面の撮影やスクリーンショットはお控えください。掲示資料に関する著作権、参加者の個人情報保護の観点からも、厳守をお願い致します。
 - *記録用に録画しますが、個々の通信環境の不備などのご事情に関わらず録画配信は行いません。
 - *Zoom の使い方や通信環境などのサポートはできかねますが、ご了承ください。
- (参加者には、URL お知らせ時に Zoom への参加方法についてご連絡します)

主催・お問い合わせ先：絵本学会 研究委員会 ehongakkai.kenkyu@gmail.com